

目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1**
ちゅらさん運動
- 6 **特集2**
頑張る沖縄の中小企業を
応援します
- 8 **特集3**
全国へ届けよう!!
沖縄からのチムグクル
- 10 飛び出せOKINAWA!!
ヒト・モノ・企業のグッジョブ
「ゴルフ」
- 12 県のうごき1
平成23年沖縄全戦没者追悼式
- 13 県のうごき2
新しい公共支援事業について
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和
「沖縄市」

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝える冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは
県広報課ホームページで
ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020

表紙について

次代へつなげたい沖縄

先輩から後輩へつなぐ民俗芸能「エイサー」

今回の表紙は、エイサーのまち宣言をした沖縄市で行われたエイサーイベントでの写真です。各地域の青年たちが、旧盆の道じゅねーを目指して練習を重ねています。

(写真提供: (社) 沖縄市観光協会)

7/7

中国人個人観光 数次ビザ第1陣48人が来沖



上原副知事らから歓迎を受ける中国人観光客

個人観光数次ビザを取得した中国人観光客第1陣48人が来沖した。北京・上海から、国内線経由で19人、上海直行便で来た29人を、上原副知事と観光庁の山田尚義審議官、沖縄観光コンベンションビューローの安里繁信会長が那覇空港で出迎えた。

数次ビザを取得すると、最初の渡航で県内に1泊以上するだけで、3年間ビザの申請を行わずに日本中どこにでも行けるため、東日本大震災で落ち込んだ中国人観光客を、日本全体に取り戻すきっかけになると期待されている。歓迎の様子は中国でも報じられており、数次ビザを追い風に、中国からの観光客誘致を強化していく。

7/8

「さいおんスクエア まちびらきまつり式典」開催



与世田副知事らによるテープカット

この事業により、安里川の改修に加え、駅前広場、居住施設、図書館及びプラネタリウムなどの公共施設が整備された。

沖縄都市モノレール牧志駅に隣接する牧志・安里地区で「安全・安心・潤い」のまちづくりを目的として整備を進めてきた再開発事業が完成し、「さいおんスクエアまちびらきまつり式典」が行われた。

式典に仲井真知事の代理で出席した与世田副知事は「さいおんスクエアが地域の方々や広く県民・観光客の“集い・憩いの場”として親しまれていくことを期待している」とあいさつした。

6/24

平成23年春の叙勲伝達式 受章者16名に勲記と勲章を伝達



平成23年春の叙勲受章者と仲井真知事

東日本大震災の災害対応のため伝達が延期されていた、平成23年春の叙勲伝達式が那覇市の知事公舎で行われ、受章者16名に勲記と勲章が伝達された。仲井真知事は「今日の沖縄県の発展は、各分野の第一線にあって、業務に精励され、優れたご功績を挙げられてこられた皆様の真摯なご努力の賜物であり、そのご功績は県民の誇りであり、手本である」と述べ、受章者の功績を称えた。

地方自治功労で旭日双光章を受章した元沖縄市議会議員の普久原勇氏が受章者を代表し、「各分野の向上発展に功績があったとして評価していただいたことは、身にあまり光栄であり、今後とも叙勲の栄誉に恥じぬよう、健康に気をつけて県勢発展のために微力をつくして参りたい」と受章の喜びを語った。

6/29

「ニライの彼方」が 第5回世界のウチナーンチュ大会 テーマソングに決定!!



テーマソングを受賞した
新垣雄氏(作詞・作曲)とnatchy(歌)

海外から約5,000名の参加を得て、今年10月に開催する「第5回世界のウチナーンチュ大会」のテーマソング発表会が県民広場で開催され、フェルマータ株式会社の「ニライの彼方」に対し、表彰が行われた。

知念英信大会実行委員会幹事長は「今大会にふさわしい素晴らしい楽曲」と受賞を称え、作詞・作曲を務めた新垣雄氏は「ウチナーンチュ同士が大会を大いに盛り上げ、祝えるようにと思って創りました」と述べた。

発表会では、natchy(なっちい: 本名・山田七海=沖縄東中学2年)による生ライブが行われ、力強い歌声に、道行く人々も足を止め聞き入っていた。

14日	13日	12日	11日	8日	7日	6日	7月
知事上海・北京出張(17日まで) ※中国人観光数次ビザ創設記念トップセールス	沖縄振興一括交付金(仮称)の創設についての要請 (関係省庁、民主)	全国知事会議 秋田県 13日まで	表敬 仲井真知事 表敬 沖縄県産業雇用拡大県民運動推進功労者表彰式 表敬 沖縄県物産公社代表取締役社長 上里至氏	表敬 環境省地球環境審議官 寺田達志氏 面談 民主党沖縄県総支部連合会代表 新垣安弘氏ほか	さいおんスクエアまちびらきまつり式典 中国人個人観光数次ビザ第1陣歓迎式	NHK会長 松本正之氏 訪問 NHK沖縄放送局長 泰秀氏 訪問	

29日	27日
第5回世界のウチナーンチュ大会テーマソング発表会 及び表彰式	日米安全保障協議委員会2プラス2の合意内容など に対する要請(総理大臣、関係省庁、民主党)

26日	24日	23日	21日	17日	16日
知事上海(27日まで)	要請 那覇市開南大通り活性化促進協議会会長 崎濱盛喜氏ほか	要請 那覇港管理組合協議会議員	連合2011平和オキナワ集会 第50回平和祈願慰霊大行進記念大会式典交流会	表敬 那覇大綱挽回保存会会長 新垣勇氏	駐留軍用地跡地利用促進法(仮称)の制定及び尖閣諸島 周辺海域における漁業者の安全操業の確保に関する要請 (関係省庁、民主党 17日まで)

6月

県政日誌

沖縄の人口・世帯の動き

人口

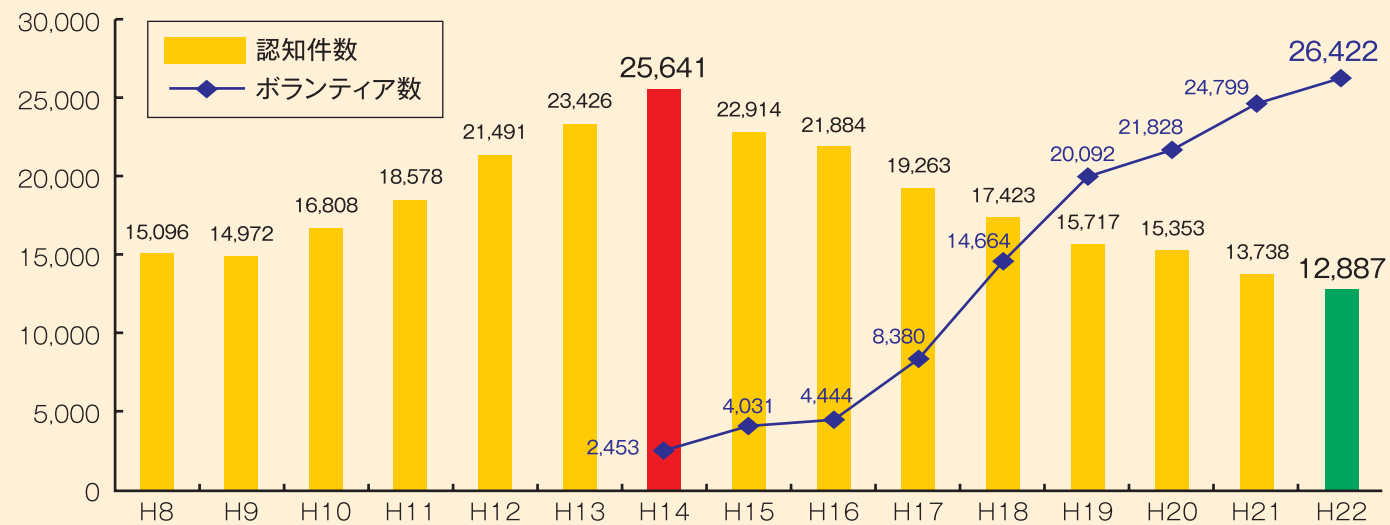
139万8,111人
※前月比1,165人増

世帯

54万2,660世帯
※前月比1,234世帯増

※平成23年
6月1日現在

沖縄県の刑法犯認知件数と防犯ボランティアの推移



●防犯ボランティア活動に参加しよう

「ちゅらさん運動」の普及に伴って、防犯ボランティアの数が増えるなど、地域活動によって犯罪が減っています。

しかし、犯罪が減ったからといって、防犯に関心を持たず、気を抜いて安心すると元にもどってしまうおそれがあります。県民が、防犯ボランティアの活動に参加するなど、身近で発生する犯罪を防止することによって、安全・安心な沖縄県の実現につながるのです。

そのためには、一時的な取り組みではなく、継続して「ちゅらさん運動」を行うことが必要なのです。

ポイント

「犯罪を起こさせない環境づくり」が重要！

できるときにできることから

～気軽にできる「ちゅらさん運動」を実践しよう～

- ①外出時は、周囲への目配り・あいさつをしよう！
- ②庭木の水やりは、登下校時に！子どもを見守ろう！
- ③こまめにカギをかけよう！
- ④ゴミ拾い、落書き消しなど地域の環境美化をしよう！
- ⑤地域の防犯パトロール活動に参加しよう！

犯罪を予防するための要素（犯罪機会論）

犯罪機会論 ～地域の環境づくりを行うことで防犯効果が高くなること～

犯行の行程： 場所を選ぶ → 対象（被害者）に近づく → 犯行を行う

領域性

監視性

抵抗性

防犯対策（3要素）：

・塀の設置
・カギかけ
・戸締まり

・見通しをよくする
・防犯パトロール
・防犯カメラ設置など

・危険な場所を避ける
・大声を出す
・防犯ブザーを鳴らす
・逃げるなど



「ちゅらさん運動」は、犯罪の起こりにくい沖縄県をつくるため、県民が一体となって取り組んでいる防犯に関する活動です。県民の暮らしに、深い関わりのある「ちゅらさん運動」へのご理解とご協力をお願いします。

平成十年から五年連続で犯罪が増加し、平成十四年には二万五千件（沖縄県の刑法犯推移グラフ参考）を超えるなど、沖縄県内の治安情勢は、危険水域に達しました。県では増加の一途にある犯罪を減らすため、安全で安心な住みよい沖縄県の実現に向け「ちゅらさん運動」を基本に、三つの「ちゅらさん運動」を取り組んでいます。

安全で安心して暮らせるまちをつくるため、起こった犯罪に対して警察が犯人を捕まえるだけでなく、犯罪そのものを起こさせないようすることが重要であるとの考えから、条例に基づき、青少年の健全な育成を図る「ちゅらひとづくり」、防犯環境を整備する「ちゅらまちづくり」、地域コミュニティ（絆）を再生する「ちゅらゆいづくり」を基本に、三つの「ちゅらさん運動」に取り組んでいます。

「ちゅらさん運動」とは…

「ちゅらさん運動」とは…



ちゅらさん運動
～できるときにできることを～

ちゅらさん運動

県・市町村・事業者・学校・警察・県民
が一体となった取り組み

ちゅらゆいづくり 県警本部

防犯ボランティアの結成・支援・パトロール活動など

ちゅらまちづくり 知事部局

公共施設の防犯・安全点検
安全・安心まちづくり講習会など

ちゅらひとづくり 教育庁

青少年の健全育成
地域安全マップ作製など

犯罪のない安全・安心な沖縄県の実現

お問い合わせ 県民生活課 TEL:098-866-2187 FAX:098-866-2789

今回の震災などで、仕入れ商品の値上がりや、お客様の減少などに大変ご苦労されている企業の皆様は多いと思います。そういったときに、融資や新事業への着手の相談など、中小企業の皆さんの様々

頑張る中小企業を支援するための取り組み



県では、このような中小企業の担う社会的な役割を重要と考えており、中小企業の自主的な努力による取り組みをサポートするとともに、これまで以上に中小企業の支援団体と連携し、中小企業の振興に関する施策を充実させるために「沖縄県中小企業の振興に関する条例」を制定しました。また、沖縄県知事は「沖縄県中小企業振興宣言」を行い、この方針に基づき、中小企業の総合的な支援に取り組んでいます。

頑張る沖縄の中小企業を応援します

私たちが住む沖縄県の生活を豊かにしている県内企業の99.9%が中小企業です。県では、こうした中小企業を応援するための様々な支援を行っています。

この支援団体と沖縄県は、互いに協力して、中小企業を元気にするために取り組んでいます。平成二十年度からは、その支援団体の方々との会議を開催し、中小企業の皆さんの日々の取り組みや問題などを情報交換し、その解決方法について話し合いを行っています。また、沖縄県知事は、これら支援団体トップの方々から、県全体の中小企業の支援のあり方について意見を聴いて、多くの企業が元気になるようお手伝いしているところです。



産業振興公社中小企業支援センターの相談窓口

な相談を受けてサポートしているのが、各市町村商工会・商工会議所や中小企業支援センターをはじめとする様々な支援団体です。

沖縄県中小企業振興宣言

平成20年8月11日 沖縄県知事 仲井眞 弘多

- 一つ、中小企業の「経営の革新の促進」と「創業の促進」に努めます。
- 一つ、中小企業の「経営基盤の強化」と「資金調達の円滑化」に努めます。
- 一つ、急激な事業環境変化に対する「適応の円滑化」に努めます。

県内には、様々な会社や小売店、飲食店、建設業、工場、医療・福祉サービス、宿泊業など、実に五六、六〇近く（平成十八年度の統計調査）の中小企業があります。中小

企業とは、名前のとおり中規模、小規模な企業を意味しており、業種によって基準は異なりますが、概ね従業員が三百名以下の企業です。中小企業は、県民の生活を豊か

「沖縄県中小企業の振興に関する条例」ってなに？

にするための様々なサービスの提供のみならず、多様な就業の場の提供や、給料の支払いを通して県民に対し、安定した生活をもたらすといった社会的役割をも担っています。また、中小企業の事業活動に活気が出ることで、その企業の周辺が活性化し、県内産業の成長にもつながっています。



県民の皆さんの応援が鍵

中小企業が元気になるためには、県民の皆さんの協力も欠かせません。県民の皆さんが、県内中小企業の作った食料品や工業製品、飲食店を利用したり、地元ホテルに宿泊することで、「地産地消」が活発になり、中小企業はさらなる活力を得て、事業の拡大を図り、新たに従業員を雇用することができまします。そのために、みんなで県産品を愛用して中小企業の応援をしていきましょう。



6月21日開催の中小企業振興会議

中小企業の様々な相談を受けます!!

(財)沖縄県産業振興公社中小企業支援センター
沖縄産業支援センター4階 ☎098-859-6237

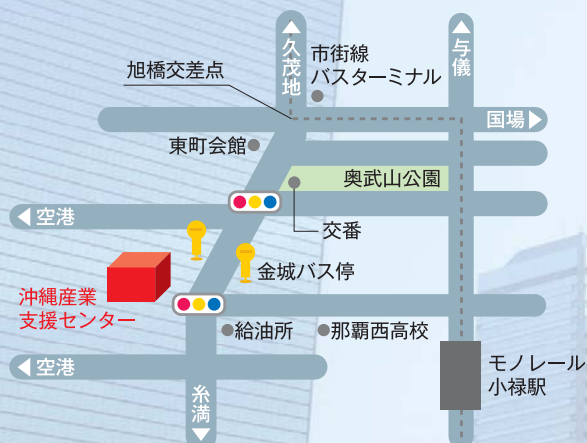
または、最寄りの各市町村商工会・商工会議所まで、気軽にご相談ください!!



(財)沖縄県産業振興公社では、沖縄県の中小企業に関する主な施策の概要をまとめた「中小企業100の支援」をホームページで紹介しています。

詳しくは、[中小企業100の支援](#) [検索](#)

URL: <http://okinawa-ric.jp/100support/>



お問い合わせ 県産業政策課 TEL:098-866-2330 FAX:098-866-2440

東日本大震災の影響を受け、沖縄県の観光産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。そこで、県では、低迷する沖縄観光の回復のため、補正予算による緊急対策を実施し、観光客の多様なニーズを掘り起こすプロモーションなどを通じて観光客の増加を

目指します。
 ▲主な実施事業V
 ●観光マルチビザ(※1)創設キャンペーン事業
 中国人観光客数次ビザの創設を契機に、中国人観光客の誘客を拡大すると同時に、県内消費を促進する取り組みを行います。

観光回復のための県の取り組み



東北応援ツアー

ツアー参加者の声

- ・東北の素晴らしい文化に触れ、おいしい料理をいただき、心地よい温泉と温かいおもてなしをうけ、心身ともにリフレッシュすることができた。被災地を観光して楽しむことで、支援に繋がりたい。
- ・被災地の観光地の方々とはとても頑張っておられた。沖縄県民としてこれに応えることができるように、できる支援からしていきたい。今後もこのような応援ツアーがあれば、積極的に参加したいと思う。

県内の経済団体などを中心に一三三三人が参加し、被災の風評被害を受ける観光地の復興を後押しするため、平泉の中尊寺金色堂や石川啄木記念館など多くの観光地を巡り、地元観光協会などの歓迎を受けました。この応援ツアーは、今後も順次進行される予定です。

平成二十三年六月八日(水)～十日(金)

「東日本大震災に伴う東北三県(岩手・宮城・福島)応援ツアー」
三日間

全国へ届けよう!! 沖縄からのチムグクル

～沖縄県の観光振興の取り組み～

東日本大震災は、沖縄の観光へも大きな影響を与えました。そのような状況の中、県では、被災者支援への取り組みと、沖縄県の観光回復に向けた様々な事業を行っています。



大震災による観光入客数の減少
 去った三月十一日に発生した東日本大震災は、ツアーキャンセルや新規予約の低迷などが全国的に発生し、沖縄県でも、観光客数が大幅に減少するなど、大きな影響を受けています。
 そこで、沖縄県による被災者を応援する取り組みと、観光回復のための取り組みを紹介します。

被災者を応援する取り組み

「沖縄から東日本へチムグクルを届ける大会
～がんばろう東日本、がんばろう日本～」

平成二十三年四月二十二日(金)

東日本大震災被災者への支援の継続と共に、全県的な受け入れ体制作りを推進し、「沖縄のチムグクル」と元気を全国に発信しよう」という趣旨のもと開催し、県内の各行政関係者、各経済団体などを中心に約四三〇名が参加しました。大会では、県の被災者支援の状況や、観光振興に対する取り組みなどの説明を行いました。また、F.C琉球の選手の皆さんの協力のもと、募金の呼び掛けを行い、集まった支援金(九四、



▲F.C琉球の選手の皆さんにご協力いただきました



▲チムグクル大会仲井真知事挨拶

四四九円)は被災者支援に活用するため、県の被災者受入対策チームに寄付されました。



会場内の様子▶

●需要回復基調創出事業
 沖縄観光PRイベント、修学旅行強化などへの取り組みを通じて、低迷する観光気運の上昇を図ります。
 ●若年層市場開拓促進事業
 若年層の観光客の誘客をテーマにしたプロジェクトを県内各事業者から募集し、支援します。
 (※1)観光マルチビザとは、期限内なら何度でも観光のための訪日ができるビザ。経済力など一定の条件を付して発行される。
 (※2)MICEとは、ミーティング(会議)、インセンティブ(企業が販売促進のために行う報奨旅行や行事など)、コンベンション、イベントまたはエキシビジョン(展示会など)の総称であり、それぞれの英単語の頭文字を綴ったもの。



沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」
<http://www.okinawastory.jp/>
 沖縄の観光情報が盛りだくさん! ぜひご覧下さい

今年度の ビジットおきなわ計画

沖縄県では、平成二十三年度、ビジットおきなわ計画において、今年度の基本戦略を以下のように掲げています。

▲基本戦略V

- 今年度は、国内・海外ともに観光客の減少が見込まれていますが、市場環境を注視しつつ沖縄観光への需要喚起を図るため、「沖縄観光特別緊急対策」を実施します。
- 沖縄の文化・スポーツ・医療などを活用した観光メニューの開発促進や離島観光の推進、付加価値の高い沖縄旅行をPRし、誘客を図ります。
- 受入体制の強化により、安心・安全・快適な観光地として沖縄をアピールします。

お問い合わせ

県観光振興課

TEL:098-866-2764

FAX:098-866-2765



活躍するジュニア

宮里藍プロのように
世界で活躍できる
プレーヤーになりたい。

沖縄ジュニアゴルファー育成会
会員 千葉 華 さん(12歳)



ゴルフが楽しいという
千葉さんを紹介！



第3回全日本小学生ゴルフトーナメント全国大会
2位の輝かしい賞歴を持つ千葉華さんのプレー

5歳でゴルフをはじめ、小学1年生の
時に育成会に入会。スコアのつけ方や
ルール、どんな風に大会を回ればい
かなどを学んでいます。特にあいさつ
は基本。キャディさんやボランティア
の方にもあいさつをします。練習が苦
しいときは、「今のがんばりがいい結
果につながる」と自分を励ましています。
第6回全日本小学生ゴルフトーナメント
の全国大会では、自己ベストの2位
の成績を超える優勝をめざします。



バットを使ったスイング練習を
指導する上原さん

義を貫く精神力を養うことが大切
と上原さん。そのため、毎月実施し
ているコンペラウンド前には勉強
会を開催。独自のスコアを配布し
てマーカー署名・確認署名の指導
も行っています。
「プロの選手でも勘違いやうっ
かりミスで失格があります。あい

ゴルフを通じて社会に 貢献できる人材を

諸見里しのぶプロや大城さつき
プロなども育成会の出身。彼女た
ちの活躍が後輩ゴルファーのお手
本や励みになっています。

「最終的にはゴルフを通して社会
に役立つ人、世の中に何かを還元で
きる人になってもらいたい」と夢を
語る上原さん。そのためには父母の
協力が必要だといいます。「技術面
ばかりを考えずに、人間形成にも
目を向けてもらいたい」。大きな世
界へと羽ばたく沖縄ジュニアゴル
ファーを支える育成会の草の根活
動は、これからも地道に続きます。



毎月30名ほど参加する
定例の沖縄ジュニアゴルファー育成会コンペ



定例コンペの受付は父母が中心に

多くの人たちに
支えられています。



「沖縄から優秀なジュニアゴ
ルファーを輩出できるのは、
年中練習できる温暖な気候、
送迎やレッスン料に対する父
母の手厚いサポート、ショ
ートコースやジュニア料金で協
力してくれるゴルフ場や練習
所などのおかげ」と上原さん。
沖縄尚学高のセンバツ優勝を
例に挙げ、「県内においても大舞
台に通用する選手は充分地元
で育成できる。大切なのは信
じる気持ちと県全体での環境
づくり」と話します。

飛び出せ!! OKINAWA みんなで
グッジョブ運動

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている
ヒトやモノ・コト、企業のあふれる
パワーをお届けします。

ゴルフ

ジュニアの育成を
支援してくれているのよ。

今回のグッジョブは
ジュニアゴルフ王国・沖縄を支える
「沖縄ジュニアゴルファー育成会」です。



定例コンペの会場
「南山カントリークラブ」



沖縄ジュニアゴルファー育成会事務局長
(九州ゴルフ連盟ジュニア育成委員会 代表委員)
上原修さん

米女子ゴルフツアーで活躍する
宮里藍プロや宮里美香プロ、七月
にツアー通算三勝目をあげた上原
彩子プロ、諸見里しのぶプロ、大城
さつきプロ、そして日本女子アマ
チュア選手権で優勝した比嘉真美
子さん(本部高三年)など、多くの
県出身ゴルファーが国内外で活躍
しています。その雄姿は県民に元
気や誇りを感じさせてくれます。
彼女たちのほとんどが、ジュニア
ゴルフ時代から全国で好成績
を残し、「ジュニアゴルフ王国・沖
縄」を全国に印象付けてきました。
世界に通用するプロゴルファー
の卵たちをサポートしているのが、
平成九年に発足した「沖縄ジュニ
アゴルフアー育成会」です。県内ゴ
ルフ場関係者や指導者などが、ジ
ュニアゴルフアーの父母らと協力
しながら組織を運営しています。

ジュニアゴルフアーの 健全な育成のために

ゴルフは常に自分と 向き合うスポーツ

育成会では現在、小学一年生か
ら高校生まで約四十名のジュニア
ゴルフアーが所属。県内のジュニ
アゴルフアー育成に全面協力する
南山カントリークラブを会場に、
毎月定例コンペを実施し、毎年三
月開催のダイキンオーキッドでは
ボランティア活動も行っています。
人間形成に特に力を入れており、「審
判がないゴルフは、常に自己と
向き合い、誰も見ていなくても正



コンペ前の勉強会ではルールやマナーに
ついて質問形式で学習(指導担当:九州ゴルフ
連盟ジュニア育成委員小玉マリ子さん)



試験

職員選考採用試験の案内

- 試験日 一次選考は書類審査、二次選考は10月下旬
- 募集期間 8月2日(火)～31日(水)
- 採用職種 沖縄県立病院事務局職員(病院事務職(正職員))
- 採用予定 若干名
- 募集要項配布方法 県立病院課、各県立病院総務課ほかで配布 県立病院課ホームページからダウンロード可
- 問合せ 県立病院課
☎098-866-2832

平成23年度行政書士試験のお知らせ

- 日時 11月13日(日) 午後1時～4時
- 場所 沖縄国際大学、県宮古事務所、石垣市商工会館
- 受験願書受付期間 8月1日(月)～9月2日(金)
- 受験願書配布場所 (財)行政書士試験研究センター、県市町村課、名護県税事務所、県宮古事務所、県八重山事務所、沖縄県行政書士会
- 手数料 7,000円
- 問合せ (財)行政書士試験研究センター
☎031525115600
県市町村課
☎098-866-2134

お知らせ

ハブクラゲ発生注意報発令

- 期間 6月1日(水)～9月30日(金)
- 内容 6月から9月はハブクラゲ刺症被害が多発しています。海水浴は肌の露出を避け、ハブクラゲ侵入防止ネット内で泳ぎましょう。刺された場合はこすらずに、酢で洗い流しましょう。
- 問合せ 県業務疾病対策課
☎098-866-2215

北方領土返還運動強調月間

- 8月は、北方領土返還運動全国強調月間です。我が国固有の領土である歯舞(はぼゑ)、色丹(しこたん)、国後(くなし)、択捉(えとろふ)の北方四島は、戦後65年以上を経た今日まで返還されていません。
- 北方領土の早期返還を実現するため、県民の皆様は返還要求運動に対するご理解とご支援をお願いします。
- 問合せ 県広報課
☎098-866-2020

テレビ不法投棄防止強化期間

- 地上デジタル放送の開始に伴い、不要となったテレビの不法投棄件数が増加しています。県では、7月1日(金)から8月31日(水)までの期間中不法投棄防止パトロール等の取り組みを強化します。県民の皆様のご協力をお願いします。

各施設行事予定表

県立図書館

☎098-834-1218

- ◆～獺のふる風景～ 講演会
日時：8月9日(火)午後2時～(午後1時半～受付)
講師：松下博文(筑紫女学園大学文学部教授)
場所：宜野湾マリン支援センター 2階研修室
内容：沖縄県立図書館貴重資料デジタルアーカイブ普及活用事業第1回講演会
備考：定員100名

生涯学習推進センター

☎098-864-0474

- ◆夏休みアニメ映画親子映画会
日時：8月16日(火)午前9時30分開場 10時開始
場所：県立図書館 3階ホール
内容：「ファールブル昆虫記」「ジャングル大帝」上映
定員：100人(先着順) 申込方法：電話
※公共交通機関をご利用ください。

県立博物館・美術館

- ☆休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
☎098-941-8200

- ◆夏休み！博物館学芸員教室
内容：博物館学芸員が、小中学生を対象に教室を開催します。
日時：8月2日(火)～4日(木) 各教室1時間半
参加方法：当日の午前9時から受け付けます。1日につき1つの教室に参加できます。
参加費：教室によって異なります。(ほとんどの教室は無料)
対象：小学生から中学生(教室によって対象が異なります)小学生は保護者同伴になります。
※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.museums.pref.okinawa.jp>

- ◆博物館文化講座
内容：博物館文化講座「ISSEY MIYAKE・伝統的テキスタイルとパリ・コレクションデザイン」
講師：藤原 大(フジワラ ダイ)
日時：8月20日(土)午後2時～4時(開場1時30分)
場所：博物館・美術館3階講堂
定員：当日先着200名
参加費：無料

クリーニング師試験

- 日時 9月8日(木)午前9時20分～午後5時
- 場所 沖縄県生活衛生研修センター(那覇市小祿)
- 学科試験 沖縄県生活衛生研修センター(那覇市小祿)
- 実地試験 若草クリーニング(那覇市小祿)
- 願書受付期間 8月8日(火)～8月12日(金)まで(住宅地を管轄する保健所に提出)
- 内容 (1)学科試験 (2)実地試験
- 問合せ 県生活衛生課
☎098-866-2055

募集

都市緑化コンクール募集

- 沖縄の緑豊かなまちづくりを広めるために、都市緑化コンクールを実施します。個人宅の緑化から店舗や事業所の緑化、また緑化事例の他薦まで幅広く作品を募集しています。
- 募集対象 「民間部門」、「公共部門」の2部門
- 応募締切 8月19日(金)
- ※詳細は都市計画・モノレール課のホームページをご覧ください。
- 問合せ 県都市計画・モノレール課
☎098-866-2408

- 問合せ 県環境整備課
☎098-866-2231

毎月勤労統計調査特別調査

- 調査期間 8月～9月
- 調査対象 7月31日現在、1～4人の労働者を雇用している事業所
- 調査方法 統計調査員がお伺いし、聞き取り調査を行います。事業主の皆様は調査へのご理解とご回答をお願いします。
- ※詳細は県統計課ホームページをご覧ください。
- 問合せ 県統計課
☎098-866-2050

沖縄科学技術大学院大学 キャンパスツアー(見学の案内)

- 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構(OIST)では、ガイド付き・ガイドなしにてキャンパスを見学いただけます。
- 見学は月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く、月金16時～水10時半)はガイドが付きます。(ガイド付きは予約が必要です。)
- 問合せ OISTコミュニケーション・広報課
☎098-966-2184
メールアドレス visit-us@oist.jp

合同就職説明会・面接会

- 日程 8月5日(金)JAおきなわ宮古地区本部 午後1時～5時
8月20日(土)嘉手納町中央公民館

駐留軍等労働者の事前募集

- 応募資格 県内在中の18歳以上の方
- 受付期間 通年受付中
- 応募方法 インターネットまたは窓口のいずれか1回の応募で有効。窓口の場合は、指定の応募用紙が必要です。
- ※詳細は「LMO」でネット検索
- 問合せ 独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構 沖縄支部 管理課
☎098-921-5532

県芸術文化祭作品募集

- 11月開催の沖縄県芸術文化祭公募展の作品を募集します。
- 応募規定 美術・写真・書道の各募集要項にてご確認ください。
- 応募資格 県内在住者
- 出品料 1点3,000円とし、2点目以降は1,000円
- 作品受付
【写真】8月19日(金)～20日(土)
【美術】8月26日(金)～27日(土)
【書道】8月24日(水)まで
【公募展開催期間】11月26日(土)～12月4日(日)
※詳細は(公財)沖縄県文化振興会のホームページをご覧ください。
- 問合せ (公財)沖縄県文化振興会
☎098-868-3888

技術講習・調剤事務

- パソコン操作が可能な概ね40歳までの就職を希望される女性に対して講習を行います。(学生、妊婦を除く)
- 期間 8月31日(水)～9月16日(金)
【月・水・金】午前9時～午後3時
- 会場 宜野湾市勤労青少年ホーム
- 内容 調剤事務管理士の資格取得を目指す。
- 申込方法 来所申込 8月18日(木)・19日(金) 午前9時～11時30分 午後1時～4時
- 選考方法 筆記試験・面接 8月23日(火) 定員20名
- 対象者 パソコン操作が可能な概ね40歳までの就職を希望する女性
- 受講料 無料(但し、教材費・検定料等は自己負担)
- 問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-863-1788

字幕ビデオライブラリー

- 字幕ビデオライブラリーは、聴覚障害者向けに制作された字幕または手話付きビデオ、DVDを聴覚障害者等に貸し出す事業です。
- 貸出場所 沖縄県総合福祉センター東棟2階
- 会館日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
- 休館日 土・日・国民の祝日・休日、毎月第1火曜日、6月23日、年末年始(12月29日～1月3日)
※遠隔地からのご利用も可能です。
- ※貸し出しについては、事前の登録が必要であり、作品により対象者等が定められています。
- 問合せ 沖縄県社会福祉ライブラリー
☎098-868-215811
FAX 098-868-25820
障害保健福祉課
☎098-866-2190

県広報課からのお知らせ

8月 放送予定

- 6日・7日 / 平成23年度道路ふれあい月間
- 13日・14日 / 「振り込め詐欺」の被害防止対策について
- 20日・21日 / 中小企業の振興について
- 27日・28日 / 防災について



テレビ放送時間 / RBC 土6:15 QAB 土25:55 OTV 日6:45

詳しくはホームページへ 沖縄県 検索 トップページ 広報・広聴について 広報誌、テレビ番組、県政出前講座等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お屋のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間／毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄 (864KHz) 11:50～11:55
RBCラジオ (738KHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

県政出前講座 実施中

現在、96種類の講座を提供中！
県の職員が講師として出向きます。
詳しくはホームページをご覧ください。



開催概要

日時：平成23年10月15日(土)、16日(日)
会場：那覇市奥武山運動公園
主催：世界エイサー大会実行委員会
お問い合わせ先：世界エイサー大会事務局
☎098-867-2622

詳しくはホームページへ

世界エイサー大会2011

検索



沖縄市一番街でアトリエを構える石垣克子さん

同事業は、アーティストの創作活動が自身の生活の糧に結びつくための販路開拓も視野に入れ、本土研修や海外イベントへも参加し、ノウハウの蓄積を図っています。また、ウェブでアーティスト情報を定期発信。「知らない分野の人たちに興味を持ってもらえ、出会いにつながる」と語るのは中心市街

経済効果に期待
ビジネスへ発展する
アートエリアの形成へ

アートとビジネスのかけ橋的な役割ね。

た家主の平良みどりさん。「この街に、アートによる国際交流の拠点、コザだから実現できる芸術創造の街「アートエリア」を築きたい」と、秋友さんは目を輝かせます。

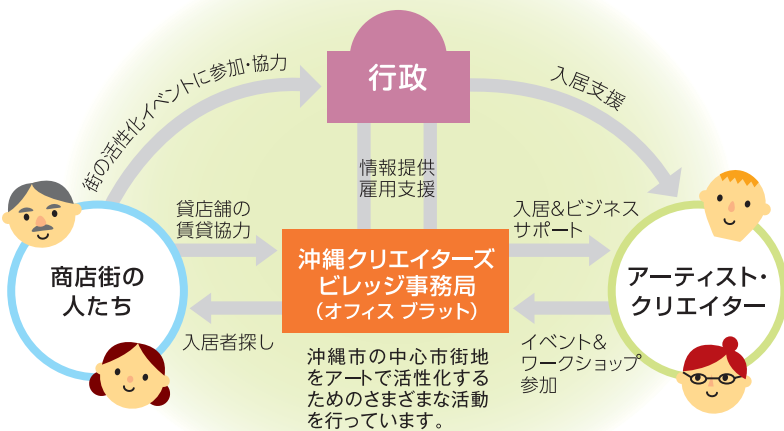
四十力国以上の人々が暮らす沖縄市は、多種多様な文化が融合し、独自の文化をはぐくみながら発展してきましたが、それを支えてきた中心市街地では数十年前から空き店舗が目立つようになり、同市ではさまざまな対策を展開してきました。しかし、かつての賑わいを取り戻すまでには至らず、空き店舗対策は大きな課題でした。その解決に向けて、「多くの文化が交差し、感性をはぐくむ街」という地域の魅力を活かした取り組みが、「アートエリアプロジェクト・沖縄

地域個性を活用
「クリエイティブ」を
街の再生キーワードの
一つに

チャンブルー文化を活かすのね。



沖縄クリエイターズビレッジ



沖縄クリエイターズビレッジの活動拠点「カラースハウス」

地でアトリエを構える石垣克子さん。ウェブではほかに、オンラインでの商品販売を予定し、スタッフは今、その準備に追われています。同事業が地域の信頼を得るため



事業を力強く推進するオフィス プラットの皆さんと普久原さん(後列右端)

クリエイターズビレッジ事業」として平成二十一年にスタート。芸術やファッション、デザイン、音楽などの創作拠点として空き店舗を活用し、街の再生を図ることを目的としています。同事業は以前からアート作品の発表の場などを

沖縄市
国際色豊かな街の感性を活かす。
地域の活性化にもつながる
アートエリアづくりが進行しています。



にいていねいな活動を心がける一方で、行政も情報交換を図りながらその想いに応えます。「店舗の整備費用を一部補助。地域活性化や産業育成を刺激する、多くの創作者を誘致したい」と、同市の雇用促進・企業誘致推進課の普久原朝章さん。観光や雇用へも発展する「アートエリアづくり」へ向けて、同事業に携わる皆の気持ちは一つになって進みます。



沖縄市の雇用促進・企業誘致推進課の普久原朝章さん



事業構想を熱く語るオフィス プラット代表・秋友かんなさん

「行政からさまざまな公募の情報をいただいたところから、事業が本格的に動きだしました」と語るのはオフィス プラット代表の秋友かんなさん。沖縄県産業振興公社「ベンチャー育成連携事業」を活用した東京ギフトショーへの出展

連携の始まり
行政からの情報提供が、
活動の幅を
広げていった

アートによる国際交流をめぐして!

プロデュースしていた「オフィス プラット」を中心に、行政と市民も巻き込んだ活動は歩きだしました。

編集後記

モノレール牧志駅前にオープンした新しい街、「さいおんスクエア」に行ってきました。公民館のプラネタリウムは最新式で、星空が降ってくるような不思議な感覚を味わえ、久茂地公民館時代の昔ながらの雰囲気とはまた違った良さがあります。図書館などもあり、今後注目の街です。(kai)

慰霊の日に広報課のカメラマンとして、平和祈念公園に行ってきました。炎天下の中、県内外から約5000人の方が参列しました。追悼式の中で、中学生の平和の詩朗読があり、それを聞いて涙しているお年寄りの姿を見て、戦争は二度としてはいけないと改めて感じました。今月の広報誌の、県の動き1で追悼式について取り上げているので、是非ご覧になってください。(tama)

平成23年8月1日発行 第35巻8号通巻431号

沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら **美ら島沖縄** **検索**

▶ 携帯電話は、右のQRコードから



を皮切りに、沖縄市「クリエイター支援事業」、そして、沖縄県「文化産業振興地域形成モデル事業」などの公募事業を活用して、スタッフの雇用を図り、空き店舗の調査からアーティストの入居までを支援する「創作拠点の整備」や「地域交流」、「商品開発」などを行っています。拠点整備では、今年度、空き店舗を再利用して十店舗のシャッターを上げる予定。「アーティストが街に集まってくると、子どもたちの感性も自然と豊かになる」と語る



同事業へ期待を寄せる、家主の平良みどりさん

